

しべちゃちょう 標茶町

【所在地】 〒088-2312 川上郡標茶町川上4丁目2番地
 【電話】 (015)485-2111
 【F A X】 (015)485-4111
 【HPアドレス】 <https://town.shibecha.hokkaido.jp>

みんないきいき みんなでつくる ～自然とともに生きるまち しべちゃ～

? 町名の由来

アイヌ語「シベッチャ」（大きな川のほとりの意）が語源とされています。

概況

釧路管内のほぼ中央に位置し、広大な面積を持つ、酪農業を基幹産業とする町です。人口約7,200人に対し、乳牛約4万5千頭が飼養されています。

総面積の約半分は山林や湿原などの大自然で、西別川・別寒辺牛川などの清流の水源地にもなっており、町内にはモール泉が湧き出る温泉施設も点在しています。

この豊かな自然を保全するため、植樹や清掃活動を行うなど、環境と産業が調和するまちづくりを進めています。

主な特産物

「星空の黒牛」はジューシーで柔らかい肉質が好評の、人気上昇中のブランド牛です。

「しべちゃ牛乳」は、当初は学校給食用として開発された、ご当地牛乳です。標茶産生乳だけを使用しています。

町内にある道立標茶高等学校では、乳製品や肉加工品、野菜などを作っており、町内外のイベントで販売しています。



しべちゃ牛乳



ハッピーくろべえ



ミルクックさん

👍 これが自慢！

2つの国立公園と1つの国定公園を有し、豊かな自然に囲まれています。

南側の釧路湿原国立公園は、総面積の約43%が標茶町に属しています。天然記念物タンチョウほか、貴重な動植物の生息地となっています。湿原の最深部となるコッタロ湿原展望台付近では、原始の風景を見ることが出来ます。

北側には阿寒摩周国立公園があり、透明度で名高い摩周湖からの湧水が多く湧き出しています。



コッタロ湿原

🔍 これが見所！

・多和平

広大な酪農地帯を360度見渡すことができます。展望台、キャンプ場などを備え、星空観察にも最適です。



多和平展望台

・サルボ展望台、サルルン展望台

塘路湖と、周辺の湖沼を一望できるポイントです。

・塘路湖

夏はカヌー、冬にはワカサギ釣りが楽しめます。近接するJR塘路駅は「くしろ湿原ノロッコ号」の発着駅で、国内外の観光客が訪れています。

🌸 シンボル 🌳

町の花



コスモス

町の木



ナラ

ここに来て！

■虹別オートキャンプ場

森と清流に囲まれたキャンプ場。周辺には西別川、支流シュワンベツ川、シュワンベツダムなどがあります。

住所：標茶町字虹別690-32
電話：015-488-2550

■ときわパークゴルフ場

釧路側標茶緑地公園の敷地内にある、日本パークゴルフ協会公認の、広々とした、36ホールのコースです。



住所：標茶町常盤7丁目23番地
電話：015-485-2434（農業者トレーニングセンター）

■自然公園塘路湖休憩施設 「元村ハウスぱる」

塘路湖畔にあるカヌーステーション。釧路湿原や塘路湖畔のアウトドア体験メニューがあります。



住所：標茶町字塘路原野北8線57番地
電話：015-487-2172

■多和平展望台・多和平キャンプ場 多和平観光物産展示施設「グリッチ多和」

360°の眺望と地平線、丘陵地帯に広がる牧場とがとくる景観を楽しめます。

住所：標茶町字標茶798-1
電話：015-486-2806

■標茶町博物館「ニタイ・ト」

森の緑と美しい塘路湖、野生の動植物を身近に感じられ、標茶町の自然と歴史を学べる博物館です。



住所：標茶町字塘路原野北8線58番地9
電話：015-487-2332

■北海道集治監釧路分監本館 （標茶町郷土館より名称変更）

明治時代に北海道集治監庁舎として使用されていた、歴史的建造物です。

- 平成30年度に、北海道遺産に登録
- 夏期間（5月～10月）は内部見学が可能



住所：標茶町字塘路1-12
電話：015-487-2332
（標茶町博物館「ニタイ・ト」）

■塘路湖ミュージアム-「あるこっと」

釧路湿原の生命の源である「水」をテーマに、湿原の自然や動植物を紹介しています。



住所：標茶町字塘路原野北8線57番地
電話：015-487-3003

くしろのあらし

くしろの市町村

くしろの自然

くしろの産業

くしろの暮らし

てしかがちょう 弟子屈町

【所在地】 〒088-3292 川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号
 【電話】 (015)482-2191
 【F A X】 (015)482-2696
 【HPアドレス】 <https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp>

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈

? 町名の由来

アイヌ語「テシカ・ガ」（岩盤の上の意）が語源とされています。

概 況

釧路管内北部の内陸地帯に位置し、屈指の透明度を誇る摩周湖、日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖、アトサヌプリ（硫黄山）、源泉掛け流しの川湯温泉など、優れた観光資源に恵まれ、町全体の65%が阿寒摩周国立公園に属しています。

基幹産業である農業は、酪農を主力とするとともに、釧路管内唯一の畑作専業地帯を抱えています。

また、観光をもう一つの基幹産業と位置づけ、民間が主体となり観光を基軸としたまちづくりを進め、様々な産業を包括した総合産業化に取り組むべく平成20年に「てしかがえこまち推進協議会」が発足し、地域の活性化を図っています。

近年は、町の財産である広大な自然を未来へ残すため、摩周湖の環境調査や公共交通機関利用促進によるCO2削減（弟子屈えこパスポート）の取組、外来種駆除の実施、環境教育の実施など、環境保全にも力をいれています。



町の花



つつじ

町の木



桜

町の鳥



白鳥

👍 これが自慢！

摩周湖、屈斜路湖など原始的景観を保つ景勝地には、国内外から多くの観光客が訪れています。キャンプ、釣り、サイクリング、自然散策など体験メニューも豊富で、特に屈斜路湖を起点とする釧路川源流付近は、日本でも数少ない原始河川の状態を保っており、カヌーツアーが人気です。

また、冷涼な気候を活かし、スポーツ合宿地として道内外の企業や大学に利用されています。



釧路川カヌーツアー

🔍 これが見所！

- ・摩周湖
不純物をほとんど含まない水が作り出す湖面の色は「摩周ブルー」と言われ訪れる人々を魅了します。気象条件によっては霧でその姿を隠す日や、雲海が発生することもあります。

- よく晴れた夜には、満天の星空をみることができ、様々な表情を見せてくれる神秘の湖です。



摩周湖

- ・砂湯
屈斜路湖畔の「砂湯」と呼ばれるエリアは、掘ると温泉の湧き出る珍しいスポット。冬季も凍結しないため、毎年白鳥などの渡り鳥がやってきます。



主な特産物

摩周そばは鮮やかな薄緑色で味も香りもひときわ引き立つと評判。地元はもちろん全国の名店からも注文が絶えない自慢の一品です。

やまさち

弟子屈町産の醸造用ブドウ「山幸」を100%使用したワイン『葡萄色の旦（えびいろのよあけ）』。山幸が持つ爽やかな酸味や豊かな果実味が特徴です。毎年9～10月頃には、町内飲食店にて地場産食材を使用した料理とのマリージュが楽しめるイベント「葡萄色の週末（エビイロウィークエンド）」も開催されています。

その他にも、肉質が柔らかく、赤身とサシのバランスがいいA-5ランクの最高級黒毛和牛『摩周和牛』、市場に出回らないため幻と言われる『摩周メロン』や、ばれいしょ、小麦などのほか温泉熱を利用し栽培されたマンゴーとイチゴ、町内産の牛乳を使ったアイスクリームなども人気があります。



摩周そばとそば焼酎



葡萄色の旦



ここに来て！

■弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民族資料館

屈斜路コタンの厳しい自然との関わりの中で培われてきたアイヌの人々の歴史を後世に残すため建てられた資料館です。

アイヌの人々の生活に関わる道具の展示、映像上映を行っております。

※冬季（12/1～4/9）休業



住所：弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地
電話：015-484-2128

■川湯ビジターセンター

川湯付近の自然を紹介する環境省の施設。周辺の森の散策ガイドなど、季節ごとに各種ツアーやイベントを行っています。

住所：弟子屈町川湯温泉2丁目2番6号
電話：015-483-4100

■大鵬相撲記念館

川湯出身の昭和の名横綱・大鵬の資料館。少年時代からの数々の写真や、優勝額や化粧まわし、名勝負・名場面の映像などを見ることが出来ます。



住所：弟子屈町川湯温泉2丁目1番20号
電話：015-483-2924

■900草原

まちを見下ろす丘に広がる大草原。広大な敷地にはたくさんの牛が放牧されているほか、展望台やレストハウス、パークゴルフ場などを備えています。

住所：弟子屈町鑑別
電話：015-482-5009

■道の駅「摩周温泉」

地場産の野菜や町内で作られるお菓子など、弟子屈町に根差した品物を取り揃えています。また、観光案内所や無料の足湯が併設されています。



住所：弟子屈町湯の島3丁目5番5号
電話：015-482-2500

くしろのあらし

くしろの市町村

くしろの自然

くしろの産業

くしろの暮らし

つるいむら 鶴居村

【所在地】 〒085-1203 阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地
 【電話】 (0154)64-2111
 【FAX】 (0154)64-2577
 【HPアドレス】 <https://www.vill.tsurui.lg.jp>

四季の詩が流れる大地 ～神舞う、ふるさと鶴居村～

? 村名の由来

特別天然記念物タンチョウの生息繁殖地であることから名付けられました。

概況

釧路管内の中央西部に位置する、酪農が基幹産業の村です。全国トップレベルの良質な生乳を生産しています。

また、名前のとおり鶴のいる村として有名で、特に冬場は国内外から多くの愛好家が訪れます。

平成20年10月「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観や環境、文化を将来にわたり守り育てることで、貴重な地域資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的に設立された組織で、全国で61（令和4年4月現在）の町村や地域が加盟しています。

今後は加盟自治体や企業等と連携・協力し、連合の設立目的にふさわしい取り組みを進めていきます。



シンボル

村の花



コスモス



村の木



シラカバ

村の鳥



タンチョウ

👍 これが自慢！

『農畜産物加工施設「酪楽館」』では、乳製品や肉製品の加工、パンづくりなどが体験できるほか、良質な生乳を使用したチーズを生産し、全国販売しています。

ベルギーの国際味覚審査機構（iTQi）の優秀味覚賞や、ALL JAPANナチュラルチーズコンテスト（中央酪農会議主催）など、国内外の権威あるコンテストの賞を数多く受賞しています。



ナチュラルチーズ

🎁 主な特産物

乳製品（チーズ、ソフトクリームなど）、とうもろこし、大根、ばれいしょなど農産物のほか、サルルンカイト（タンチョウを模した風）なども人気があります。

また、近年では鶴居村産ブドウやまさち「山幸」を原料とした赤ワイン「クロンヌルージュく赤い冠」が完成。一般販売も開始しており、新たな特産品として力を入れています。



🔍 これが見所！

- ・宮島岬、キラコタン岬

釧路湿原がかつて海に覆われていたことを物語るポイントで、岬と名付けられています。

国立公園特別保護区で、私有地でもあるため、許可無く立ち入ることは出来ません。

※村教育委員会へお問い合わせください



キラコタン岬

ここにきて！

■鶴居村ふるさと情報館「みなくる」

図書館や郷土資料館を備えた施設です。情報館前には、北海道遺産に選定された鶴居村村営軌道の当時の車両が展示されており、村民や全国の鉄道愛好家に親しまれています。また、館内の展示室には軌道に関連したパネル展が展示されており、当時の軌道の様子や歴史をうかがい知ることができます。



住所：鶴居村鶴居東5丁目3番地
電話：0154-64-2050（鶴居村教育委員会）

■鶴居どさんこ牧場

広大な敷地内に宿泊施設、厩舎などを備えています。どさんこに乗り釧路湿原をめぐるトレッキングは、道内外の観光客に人気です。



住所：鶴居村字久著呂71番1
電話：0154-64-2931

■鶴居運動広場

12haの広大な土地に多数の遊具施設を備えるほか、バーベキューコーナーも有り、家族で楽しめる施設です。

隣接する温泉ホテル「鶴居グリーンパーク」では入浴・食事ができます。



住所：鶴居村鶴居北1丁目3
電話：0154-64-2558

■農畜産物加工施設「酪楽館」

新鮮な鶴居産生乳を使用したチーズ、アイスクリームなどの乳製品や、ソーセージ、燻製などの肉加工、パンづくりなどができる、加工体験施設です。

（※）新型コロナウイルス感染症の影響により加工体験・来館を休止中（再開未定）

住所：鶴居村字雪裡435番地
電話：0154-64-3088

■鶴居たんちょうプラザ つるぼーの家

地域の観光情報を発信するほか、特産品や地場産品を販売しています。



住所：鶴居村鶴居東1丁目1番地3
電話：0154-64-5350

くしろのあらし

くしろの市町村

くしろの自然

くしろの産業

くしろの暮らし

しらぬかちょう 白糠町

【所在地】 〒088-0392 白糠郡白糠町西1条南1丁目1番地1
 【電話】 (01547) 2-2171
 【FAX】 (01547) 2-4659
 【HPアドレス】 <https://www.town.shiranuka.lg.jp>

～生き活きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して～

? 町名の由来

アイヌ語の「シラリ(磯)・カ(上)」を語源に、「波が磯を越え、しびき立つ」様子が町名の由来とされています。

概況

釧路市の西隣で南は太平洋に面しており、冷涼な気候で、秋から冬にかけての日照時間が長く、道内でも降雪量が少ないまちです。

農業、林業、漁業、鉱業、畜産業の五大産業を基幹産業として発展してきたまちで、平成17年度に自立の道を選択以降、「原点に立ち返り、足元を見つめ、耕し直す」ことを念頭に、身の丈に合ったまちづくりを進めてきました。

現在は、「第一次産業の再興と振興」、「町民の健康づくり」、「教育(意識改革)」の3つの柱を重要視点とした新たなまちづくりを進めるとともに、「子育て応援日本一の町 白糠町」を合言葉に、安心とゆとりをもって子育てができるよう、子育て施策に力を入れて取り組んでいます。

主な特産物

「紫蘇香るまち白糠」をキャッチフレーズに、町内鍛高地区で育った紫蘇を使用した「しそ焼酎 鍛高譚」、町内業者が栽培した紫蘇から作られた「鍛高ラムネ」や「しそ醤油」などの製品を展開しています。



鍛高ラムネ

鍛高譚

👍 これが自慢!

海、川、山などの豊かな自然がもたらす「食材」がまちの自慢です。

ししゃもや毛ガニ、ヤナギダコ、灯台つばなどの海産物のほか、ゴボウやベビーリーフなどの農産物、鹿肉、羊肉、乳加工品(イタリアンチーズ)などがある。これらは道の駅しらぬか恋問で販売しています。また、ふるさと納税の返礼品としても好評です。



柳ダコ



イクラ



チーズ

📢 これが見所!

「港 in しらぬか花火大会」は、道東道白糠ICの開通を記念して、白糠漁港で開催されて以来、毎年恒例となりました。屋台村や歌謡ショー、ストリートダンスショーなど多彩な催しが打ち上げ前の会場を盛り上げ、約10,000発の色鮮やかな花火が白糠の夏の夜空を彩ります。



花火大会

🌸 シンボル 🌳

町の花



キンセンカ

町の木



ナナカマド

ここに来て！

■グリーンレイク庶路（庶路ダム）

シーズンには多くの釣り客が訪れるスポットで、秋には紅葉が楽しめます。

毎年10月中旬には、ダム湖周辺を歩く「ぐるっと庶路ダム紅葉ウォーク」が行われています。



住所：白糠町上庶路基線
電話：01547-2-2171（白糠町役場）

■白糠町青少年旅行村（驚きの森）

自然の中で森の音だけを聞きながら、ゆったりと過ごせる癒しの空間。

8月にブルーベリー狩り、3月にはメープルシロップの樹液採集体験などが行われています。また、旅行村で採れたブルーベリーやメープルシロップ等を使用したソフトクリーム、お菓子などを販売しています。



住所：白糠町上茶路西1線67番地1
電話：01547-2-7122

■しらぬかパークゴルフインチャロ

平成14年にオープンした4コース、36ホールの国際公認コースで、設計はプロゴルファー丸山茂樹氏の父、丸山衛氏が担当。道内屈指の難コースで、本格的なプレーが楽しめます。



住所：白糠町西1条北11丁目1番地3
電話：01547-9-3555（パークゴルフ場）

■ウレシパチセ

アイヌ文化を発信する拠点施設として、「ウレシパチセ」が平成30年度よりリニューアルオープン。古来より大切に守り伝えられてきた歌や踊り、自然と共に生きるアイヌ文化を体感できます。



住所：白糠町東3条北1丁目2番地27
電話：01547-2-5668

■道の駅しらぬか恋問

白糠物産センター恋問館

道内4番目の道の駅として登録。白糠町の特産品を揃えた物産センター、レストランを備えています。

施設南側が接する「恋問海岸」は、数々の映画でロケ地として使われています。



住所：白糠町恋問3丁目3番地1
電話：01547-5-3317（白糠町振興公社）

くしろのあらし

くしろの市町村

くしろの自然

くしろの産業

くしろの暮らし